

記者発表資料

**H22多摩川大橋歩道拡幅工事で
「間接工事費実績変更方式」を試行**

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいない理由により、入札のとりやめや不調となる工事が相次いでいることから不調不落対策を試行しております。

今回発注する「H22多摩川大橋歩道拡幅工事」については、これまでに手続きを実施した同様の工事が不調となっており、標準的な積算と当該現場の見積り（実勢価格）に乖離が生じていると考えられることから、以下の試行を行います。

「間接工事費実績変更方式」

本工事は交通量が多い市街地で行う工事であり、資材運搬、交通規制において作業効率が低下し標準的な積算と施工実績に乖離が予想されるため、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局

技術管理課 課長補佐

技術調査課 建設専門官

横浜国道事務所 電話

計画課長

交通対策課長

あら い

ただし

新井 正

（電話048-600-1331）

よし み

せい

たろう

吉見精太郎

（電話048-600-1332）

045-311-2981

（代）

ひら い

わ

平岩

よう

せう

滝沢

貞男

（内線471）

間接工事費実績変更方式
について

対象工事の内容について

《間接工事費実績変更方式の工事概要》

- (1) 工 事 名 : H22多摩川大橋歩道拡幅工事
- (2) 工事場所 : 神奈川県川崎市幸区小向仲野町 地先
- (3) 工 期 : 契約の翌日から平成24年3月30日まで(予定)
- (4) 入札方式 : 一般競争入札 総合評価落札方式(標準Ⅱ型)
施工体制確認型
- (5) 工事種別 : 鋼橋上部工事(A等級)
- (6) 工事内容(概要):
- 工事延長(下り): 250m
 - 工場製作工 約180t
 - 工場塗装工 約3,290m²
 - 工場製品輸送工 1式
 - 撤去工 1式
 - 鋼橋架設工 1式
 - 現場塗装工 約320m²
 - 床版工 1式
 - 橋梁付属物工 1式
 - 歩道舗装工 約630m²
 - 仮設工 1式
 - 橋梁拡幅設計 1式
- (7) 実績により変更を行う工種「間接工事費実績変更方式」
・共通仮設費(率分)のうち、運搬費、安全費
- (8) 実績により変更を行う理由
本工事は、国道1号多摩川大橋(下り:横浜方向)の約250m区間において歩道幅員を1.5mから3.0mに拡幅するため、既設部材を一部撤去し、鋼材と床版を増設するものです。
当該施工箇所は、交通量が多い現道上を規制しながらの工事のため、車道・歩道利用者への影響が大きく、また、撤去鋼材運搬や交通規制において作業効率が低下する事が考えられ、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、「間接工事費実績変更方式」を試行するものです。
- (9) スケジュール
- 入札公告: 平成22年 6月29日
 - 入 札 日: 平成22年 8月25日